



城山公園テニスコートのLED照明



旧岩屋小学校の解体工事



織物技術指導の様子

決算報告

令和5年度決算が9月定例会において、全会計とも承認されました。普通会計*の令和6年度への繰越財源分を差し引いた純繰越額（実質収支）は、2,521万円の黒字となりました。

今月号では令和5年度の決算を7つの視点からお知らせします。

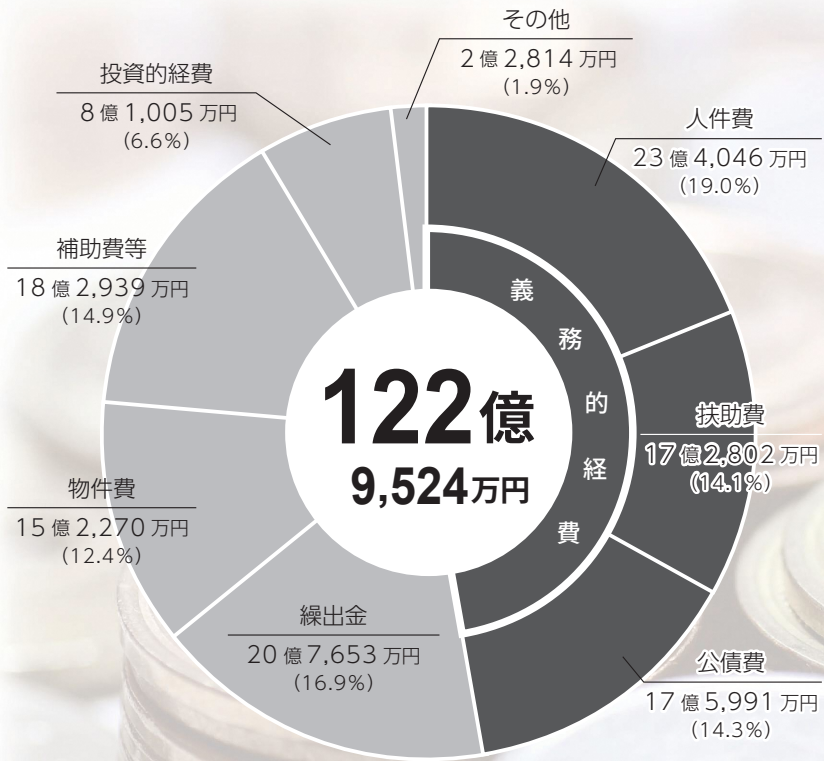
企画財政課 ☎ 43-9015

* 普通会計 … 一般会計に宅地造成特別会計と土地取得特別会計を加えたもの

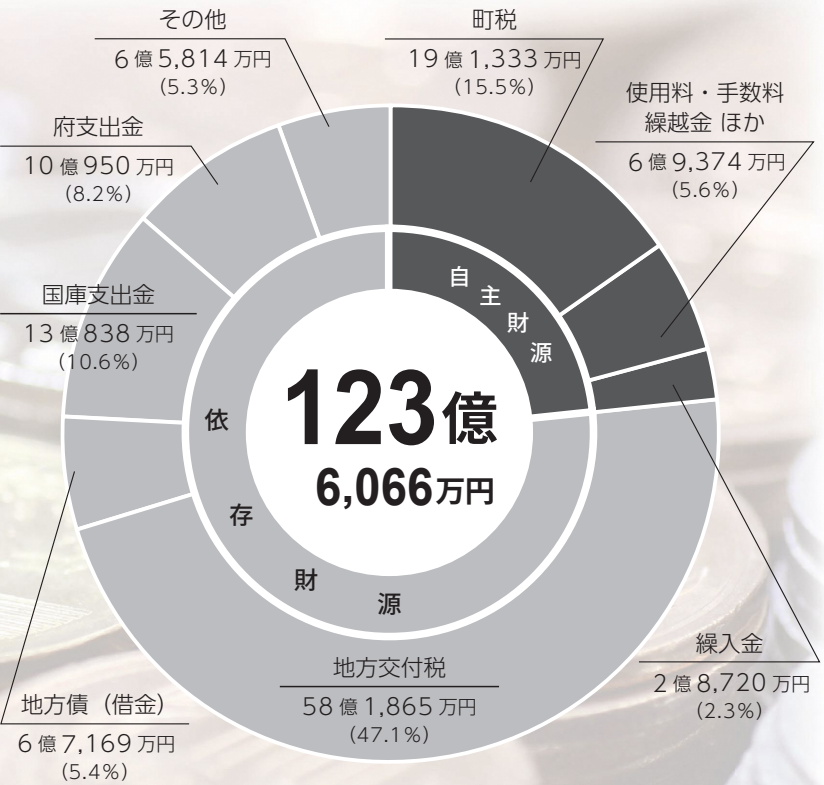
2 普通会計 歳出

公債費の抑制対策を実施

歳出総額は122億9,524万円となり、前年度と比較して1億6,428万円増加しました。**人件費**は、人事院勧告による待遇改善で会計年度任用職員報酬および期末手当が合計で8,608万円増となるなど、全体で5,704万円増加しました。**投資的経費**は、城山公園テニスコートのナイターのLED化、学校給食センター施設整備が増となるなど、全体で1億2473万円増加しました。**公債費**は、1億3713万円の繰上償還を実施したため、総額で1億247万円増加となりました。今後とも、厳しい財政状況が続くことが見込まれる中、第3次与謝野町行財政改革大綱に基づき、持続可能な行財政基盤の確立をめざします。



- 人件費 … 職員給与、議員報酬、会計年度任用職員報酬、共済費など
- 公債費 … 町債（まちの借金）の元利償還金
- 扶助費 … 児童手当、障害者自立支援給付費、老人ホーム入所措置費など
- 補助費等 … 宮津与謝消防組合等の一部事務組合への負担金、コロナ関係補助金など
- 繰出金 … 下水道・介護保険・国民健康保険などの特別会計への繰出金
- 物件費 … 旅費、備品購入費、委託料、消耗品費など
- 投資的経費 … 学童保育施設整備事業や河川改修事業などの建設費など
- その他 … 貸付金、基金への積立金、維持補修費



* 千円単位を切り捨てているため合計が一致しない場合があります

- 町税 … 町民の皆さんがまちに納められた税金。町民税、固定資産税、軽自動車税など
- 繰越金ほか … 繰越金、使用料・手数料、寄附金、分担金・負担金など
- 繰入金 … 財政調整金（貯金）などからの繰り入れ
- 地方交付税 … どの市町村でも一定の行政サービスが行えるように、国から交付されるお金
- 地方債 … 財政負担の平準化や世代間の負担の公平性を図るため、国などから借りたお金
- 国庫支出金 … まちが行う事業に対し、必要性に応じて国から交付されるお金
- 府支出金 … まちが行う事業に対し、必要性に応じて京都府から交付されるお金
- その他 … 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、法人事業税交付金など

1 普通会計 歳入

町税は増加、交付税は減額

歳入総額は123億6,066万円となり、前年度と比較して1億4,714万円増加しました。**町税**は、新型コロナウイルス感染症の影響が回復の兆しを見せ、町税全体では3,464万円増加。歳入全体では、地方交付税や国庫支出金など、国や京都府からの交付金や町債（まちの借金）などの依存財源の割合が76.6%と高い状況にあります。基金繰入は、公債費繰上償還のために減債基金から1億300万円を繰り入れるなど、2億228万円増加しました。**地方債（借金）**は、26.8%増加の6億7,169万円となりましたが、与謝野町財政計画に示す「各年度地方債発行額を10億円規模に抑制」という方針を守ることができました。

決算および主な事業の詳細は、町ホームページからご覧いただけます。



- 生活者支援 2億7,796万円
 - 事業者支援 9,900.3万円
 - その他対策関連事業 5,245万円
- 合計で4億2,944万円（40.7%）減を支えました。

新型コロナウイルス感染症対策 物価高騰対策関連事業

- 地域協働推進事業 1,376万円
- 広報・広聴事業 1,004万円

住民が主人公となるまち

- 地域内公共交通確保維持事業 1,718万円
- 道路新設改良事業 9,386万円
- 河川改修事業 7,455万円

美しく住みやすい 安心安全なまち

- 学校給食センター整備事業 5,912万円
- 地域学校連携事業 3,022万円

魅力ある教育が活力ある人や 地域を創るまち

- 子育て世代包括支援センター事業 4,218万円
- キッズステーション事業 3,78万円

つながりで笑顔を 未来につむぐまち

- 介護人材育成・確保支援事業 1,00万円
- 障害者就労支援事業 1,3万円

みんなが自分らしく 幸せに生きるまち

- 移住定住支援事業 6,80万円（移住者実績／8世帯26人）
- 国際交流事業 3,30万円

地元を誇りに想い、人の流れを生むまち

- 産業振興事業 843万円
- 織物振興対策事業 2,039万円
- 自然循環農業推進事業 1,271万円

一人ひとりが個性を生かして 安心して働けるまち

第2次与謝野町総合計画で掲げた7つの分野別方針に基づき取り組んだ事業を紹介します。

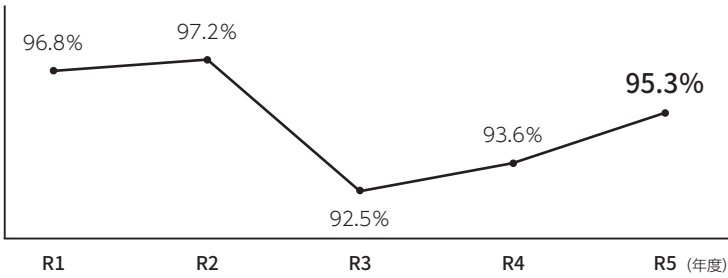
6 経常収支比率・財政力指数

自主財源の確保が課題

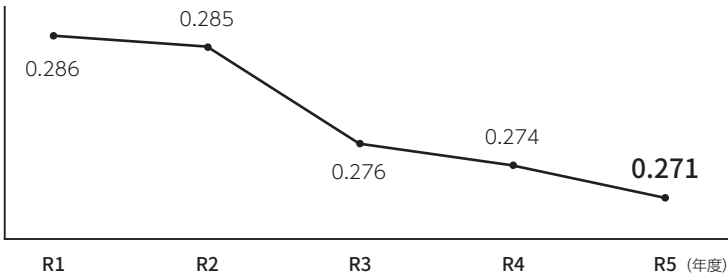
経常収支比率とは、財政構造上の弾力性を判断する指標です。町税・交付税のように使途が特定されず毎年度経常的に収入する財源のうち、人件費・扶助費・公債費のように経常的に支出する経費に充当されたものの占める割合です。80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられています。

財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数です。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高いことを示し、財源に余裕があることとなります。単年度で1を超える場合には、自立して財政運営できることを示し、普通交付税の不交付団体となります。

▶ 経常収支比率の推移（普通会計）



▶ 財政力指数の推移



7 財政健全化判断比率・資金不足比率

将来負担比率が合併以降、最小に

▶ 財政健全化比率

項 目	令和 5 年度	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	— (赤字でない限り比率がないものとされます)	13.81%	20.0%
② 連結実質赤字比率		18.81%	30.0%
③ 実質公債費比率	17.6%	25.0%	35.0%
④ 将来負担比率	89.1%	350.0%	—

※ 将来負担比率は、平成 24 年度の 156.1%から 67 ポイント改善

▶ 資金不足比率

項 目	令和 5 年度	経営健全化基準
水道事業会計	— (資金不足額が発生しない限り比率がないものとされます)	20.0%
下水道特別会計		
農業集落排水特別会計		

財政財政健全化判断比率とは、財政が健全であるかどうか「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に定められた 4 指標により判断しています。①実質赤字比率と②連結実質赤字比率は、黒字決算であるため算定されません。③実質公債費比率は 17.6%と高い数値になっていますが、令和 5 年度に比率のピークを迎え、その後、改善に転じます（※）。④将来負担比率は 89.1%と前年度から 4.7%改善しており、今後も町債残高の減少により改善する見込みです。資金不足比率は、資金不足額が発生しておらず算定されません。※ 比率が高い原因の特別会計の公債費負担である「準元利償還金」が減少するとともに、過去の借入金の返済完了に加え、年間の町債借入額の抑制を行うことで、今後、必要な施設整備事業を進めても令和 10 年度には 15%以下になり、その後も数値は改善する見込みです

3 特別会計

すべての会計で黒字決算

特別会計は特定の事業を行うための会計で、基本的な行政サービスを行う一般会計から切り離して収支を経理しています。公営企業会計は民間企業と同じように事業収益によって運営をしており、こちらも一般会計から切り離して収支を経理しています。8つある特別会計はいずれも黒字決算となりました。

公営企業会計においては、資本的収支に不足額が生じていますが、過年度分損益勘定留保資金および消費税資本的収支調整額で補てんしています。

▶ 特別会計（8つの会計）

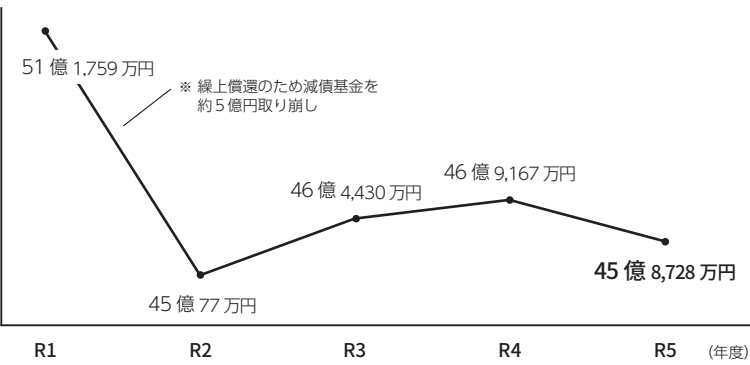
会計		歳入	歳出
宅地造成事業会計		0 万円	0 万円
下水道会計		15 億 3,823 万円	14 億 8,807 万円
農業集落排水会計		2,958 万円	2,809 万円
介護保険会計	事業勘定	29 億 1,837 万円	28 億 8,265 万円
	サービス勘定	1,480 万円	989 万円
土地取得会計		38 万円	4 万円
国民健康保険会計	事業勘定	21 億 8,611 万円	21 億 7,701 万円
	直診勘定	8,519 万円	8,519 万円
後期高齢者医療会計		3 億 6,110 万円	3 億 5,536 万円
財産区会計		1 億 335 万円	1,689 万円

▶ 公営企業会計（水道事業会計）

項目	収入	支出
収益的収支・支出	8 億 1,454 万円	6 億 7,807 万円
資本的収支・支出	5 億 6,202 万円	8 億 3,708 万円

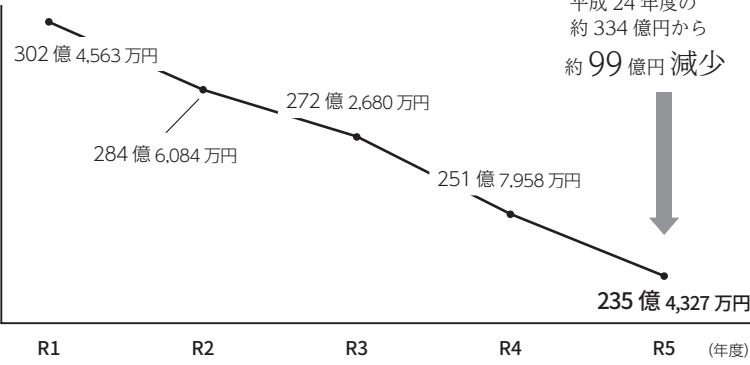
▶ 基金残高の推移

（財政調整基金、減債基金、特定目的基金、特別会計基金）



▶ 町債残高の推移

（一般会計、特別会計、公営企業会計の総額）



4 基金（まちの貯金）

繰上償還のため一部取り崩し

基金は条例に基づいて設置し、将来負担に備えて積み立てています。臨時の出費や財源不足が見込まれる場合に切り崩して事業費に充てます。令和 5 年度は、公債費の繰上償還を実施するために減債基金を 1 億 300 万円取り崩すなど、全体で前年度から 1 億 439 万円減額しました。

5 町債（まちの借金）

合併後、最小の残高となる

町債（地方債）は大きな事業をするために借り入れるお金のことで、整備した道路や施設などの社会資本を今後利用する方たちにも公平に負担してもらうための役割も担っています。令和 5 年度は繰上償還を実施したため、前年度から約 16 億 3,000 万円減少しました。

●実質赤字比率
一般会計などの標準財政規模に対する赤字額の割合。

●連結実質赤字比率
全会計の赤字額の標準財政規模に対する割合。

●実質公債費比率
全会計とまちが加入する団体の会計で、標準的に収入しうる税金や地方交付税などのうち、借金返済に使われている割合。（3 カ年平均で表す）

●将来負担比率
まちが背負っている借金などの将来にわたる負担の大きさを示す割合。（分母は実質公債費比率と同じ）

フレイル予防体操

No.13 (最終)

スクワット



運動の注意点

- 無理をせず痛みのない範囲で、少しずつ休みながら行う。
- 運動時は息を止めずに自然な呼吸を心がける。
- 体調の悪いときは決して無理をせずに休む。
- いすや机を使用するときは安定したものを使い、パイプいすやキャスター付きのいすなど、軽いものや動くものは使用しない。

手順 (20回×3回)

- ① つま先とひざを正面に向けて立つ。
- ② 腰をゆっくりと落として戻す。

POINT!

背すじを伸ばして行う

注意

腰を落としすぎて後ろに転倒しないように注意しましょう。

町政 News & Information

【北京都ジョブ博】学生と企業をつなぐ「与謝野オモロイ企業 多いのなあぜなあぜマッチング交流イベント」の開催

与謝野町では人材不足に悩む町内企業支援として、経営者のスキルアップや町内企業・地域の魅力発信の場づくりをとおして、各企業における人材確保および町内へのU・Iターンと移住定住を促進するため、マッチング交流イベントを開催します。参加無料。

- 日 時 11月16日 (土) 午後2時～5時 (予定)
- 会 場 ATARIYA (字岩滝1693番地)
- 対象者 学生 (高校生、大学生)、保護者、町内企業
※ オンライン参加も可能
- 内 容 【第1部】 企業によるプレゼンテーション
【第2部】 マッチング交流会 (フリー座談会)
※ 参加企業: 17社 (予定)
- 定 員 30人 (先着順)
- 固・用 参加を希望する方は、上記の二次元コード読み込みまたは産業観光課 (☎ 43-9012) へ。

町ホームページで随時
情報を更新しています



決算審査意見書(抜粋)

※ 広報紙用に一部編集をしています

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」となり、正にポストコロナ時代に入ることとなった。このような中、新学校給食センターの建設に向けて、実施設計や建設地となる旧岩屋小学校校舎解体工事着手に加え、町内3カ所のテニスコートの夜間利用施設の集約化を図ることを目的に、城山公園テニスコート屋外照明施設のLED化の実施、消防団第2分団の車庫詰所の集約化に伴う新車庫詰所の新築、継続的に進めてきた町内全小・中学校のトイレの改修(洋式化)完了など、地方創生推進交付金などの有効な財源を活用して実施している。

財政運営面では、当初予算では財政調整基金を繰り入れる厳しいスタートであったが、町税の増加やクアハウス岩滝の直営化に伴う使用料、減債基金などの繰入金金の増加などから、財政調整のための財政調整基金の繰り入れは前年度に引き続き回避している。これら令和5年度決算については、特に大きな指摘事項もなく評価できるものである。しかしながら、財政状況は依然として厳しい状況であり、令和3年3月に「与謝野町財政計画(令和4年度～10年度)」を策定している。住民のみなさまが関心を持たれ心配されている実質公債比率は、3カ年平均で17.6%と依然として地方債の発行に知事の許可が必要となる基準(18%)に近い数値となっており、与謝野町財政計画の各施策を着実に責任を持って実行することが重要である。令和6年度は、下水道特別会計が企業会計に移行することなどから、実質公債費比率は当初計画数値より改善され16%台となる見込みである。

新型コロナウイルス感染症のポストコロナへの対応、少子高齢化の進行やデジタル化の進展に加え、物価高騰などを背景として地域経済にもさまざまな影響が出ている。本町においても新学校給食センターの建設、野田川地域認定こども園の新築などの大型建設投資が見込まれるほか、リフレカやの里やクアハウス岩滝の管理運営方策、公共施設等総合管理計画(実施計画)の見直しおよび着実な実施など、多くの課題が山積している。このような状況に真摯に向き合い、町民を主人公として、新たな時代を深化と挑戦によって切りひらくことにより、地方自治法が定める「住民の福祉の増進を図ることを基本として地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割」の遂行に向かって山添町長を先頭に一致結束し、第2次総合計画に掲げる「人・自然・伝統与謝野で織りなす 新たな未来」の実現に向け、さらに前進されることを期待する。

「令和5年度各会計歳入歳出決算および基金運用状況審査意見書」の全文は議会事務局で閲覧できるほか、町ホームページで公開しています。



町ホームページ

与謝野町監査委員会
田中眞一
いなき いさお
家城 功

● 実質公債費比率の推移 (令和10年度まで ※6年度以降は推計)

